

がん・感染症医療センター(仮称)整備運営事業に係るVFMの公表について

1. PSCとPFI-LCCとVFMの値

項目	値	公表しない場合はその理由
①PSC (現在価値ベース)	141,130百万円	—
②PFI-LCC (現在価値ベース)	134,270百万円	—
③VFM (金額)	6,860百万円	—
④VFM (割合)	4.9%	—

2. VFM検討の前提条件

項目	値	公表しない場合はその理由
①割引率	3.55%	—
②物価上昇率	0.00%	—
③リスク調整値	—	—

3. 事業費などの算出方法

項目	PSCの費用の主な項目	PFI-LCCの費用の主な項目	算出根拠 (公表しない場合はその理由)
施設整備業務にかかる費用の算出方法	各種事前調査業務 設計業務 工事監理業務 建設業務 医療機器整備	各種事前調査業務 設計業務 工事監理業務 建設業務 医療機器整備 公租公課	・PSCの費用については、都及び他の自治体の同種の公共施設の実績並びに近年の物価水準を勘案して設定した。 ・PFI-LCCの費用については、先行するPFI案件の実績を勘案し、設定した。
維持管理・運営業務にかかる費用の算出方法	人件費 材料費 光熱水費 委託料	人件費 材料費 光熱水費 委託料 アドバイザー経費 公租公課	・PSCの費用については、既存の駒込病院の経費を勘案して設定した。 ・PFI-LCCの費用については、先行するPFI案件の実績を勘案し、民間事業者の創意工夫が期待される業務については、創意工夫によるコスト削減を想定して設定した。
資金調達にかかる費用の算出方法	起債費用 企業債金利	起債費用 企業債金利 民間資金金利	・PSCの費用については、医療機器整備及び施設整備業務のうち仮設に関わる部分以外の業務に係る費用について、起債し、それ以外は自己資金として設定した。 ・PFI-LCCの費用については、医療機器整備及び施設整備業務のうち仮設に関わる部分以外の業務に係る費用について、起債し、仮設に関わる部分の業務に係る費用は民間資金により調達することとして設定した。

4. 選定する民間事業者の事業計画に基づくVFM

項目	値	備考	公表しない場合はその理由
①PSC (現在価値ベース)	141,130百万円		—
②PFI-LCC (現在価値ベース)	135,056百万円		—
③VFM (金額)	6,074百万円		—
④VFM (割合)	4.3%		—
⑤使用した割引率	3.55%		—

注1)PSC:“Public Sector Comparator”の略で、公共が自ら実施する場合の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込額の現在価値を指す。

注2)PFI-LCC:LCCは“Life Cycle Cost”の略で、PFI事業として実施する場合の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込額の現在価値を指す。

注3)VFM:“Value For Money”の略で、一般に「支払に対して最も価値の高いサービスを供給する」という考え方である。同一の目的を有する2つの事業を比較する場合、支払に対して価値の高いサービスを供給する方を他に対し「VFMがある」といい、残りの一方を他に対し「VFMがない」という。